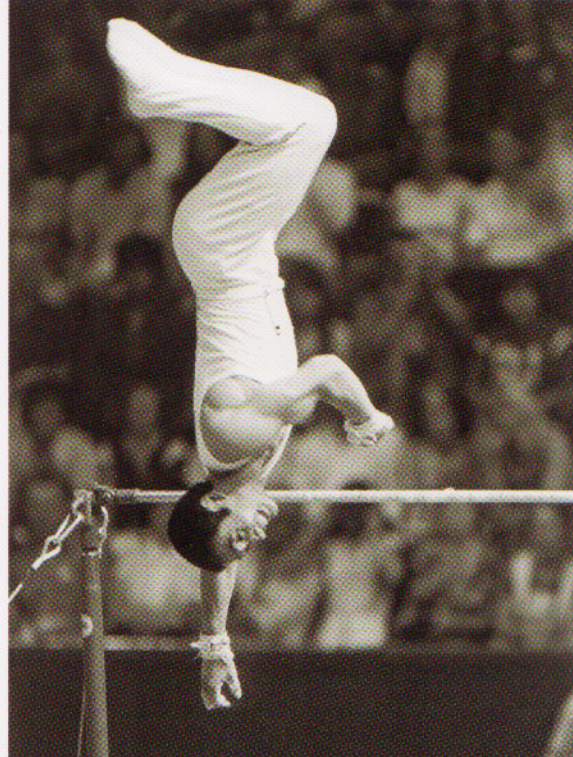


# Moon Salto



# Mitsuo Tsukahara

つかはらみつお



## 塚原光男氏の 受章を祝う会

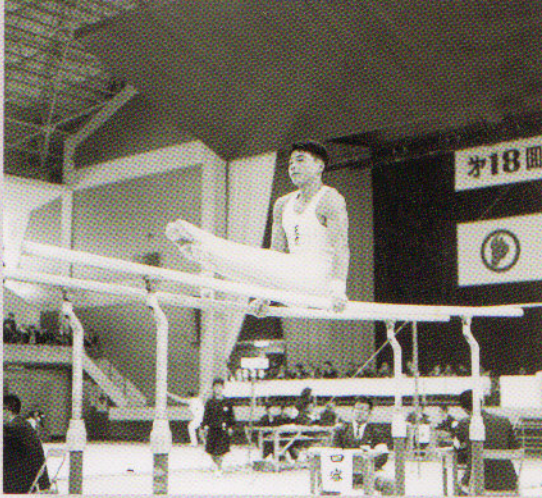
### 式次第

受章者紹介  
発起人代表挨拶  
祝 辞  
記念品贈呈  
花束贈呈  
謝 辞  
乾 杯  
会食・懇談  
閉会の言葉

時 間：平成22年2月1日(月) 午後6時 開宴

場 所：グランドプリンスホテル赤坂「クリスタルパレス」

## ■ スポーツ競技歴



「第18回国民体育大会」(昭和38年・山口県)での“平行棒”の演技。塚原氏15歳、高校1年生の時。

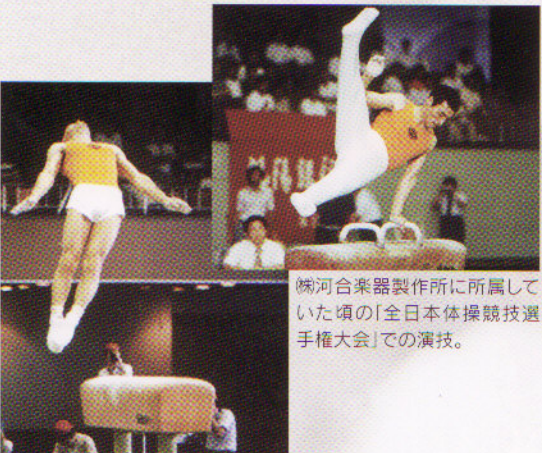
- 昭和38年 8月 全国高校選手権大会(青森県)  
団体総合2位
- 昭和39年 8月 全国高校体育大会(福井県)  
団体総合1位、個人総合1位  
【種目別】ゆか1位、あん馬1位、つり輪1位、平行棒1位
- 昭和40年 8月 全国高校選手権大会(宮崎県)  
団体総合1位、個人総合1位  
【種目別】ゆか1位、つり輪1位、平行棒2位、鉄棒1位
- 昭和41年11月 第20回全日本選手権大会(千葉県)  
団体総合2位
- 昭和42年 7月 第21回全日本学生選手権大会(兵庫県)  
団体一部2位
- 昭和42年12月 第21回全日本選手権大会(愛知県)  
団体総合2位
- 昭和43年 8月 第22回全日本学生体操競技選手権大会(長崎県)  
団体総合1位、個人総合3位  
【種目別】ゆか2位、つり輪1位、跳馬2位
- 昭和43年12月 第22回全日本体操競技選手権大会(盛岡)  
団体総合2位  
【種目別】つり輪1位
- 昭和43年12月 第19回オリンピック競技大会(メキシコ)  
団体総合1位
- 昭和44年 5月 東日本学生選手権大会(宮城県)  
団体総合1位、個人総合1位
- 昭和44年11月 第23回全日本体操競技選手権大会(山口県)  
団体総合1位  
【種目別】跳馬1位
- 昭和45年 7月 NHK杯競技会兼世界選手権代表最終選考会(東京)  
個人総合3位
- 昭和45年10月 第17回世界選手権大会(リュブリアナ)  
団体総合1位、個人総合2位  
【種目別】つり輪2位、跳馬1位
- 昭和45年11月 第24回全日本体操競技選手権大会(兵庫県)  
【種目別】つり輪2位、ゆか1位、跳馬2位、鉄棒1位
- 昭和45年12月 国際選抜競技会(東京)  
【種目別】つり輪1位、ゆか1位、跳馬2位
- 昭和46年11月 第25回全日本体操競技選手権大会(山梨県)  
個人総合2位  
【種目別】つり輪1位、平行棒2位
- 昭和46年11月 国際選抜競技会(愛知県)  
個人総合3位
- 昭和46年11月 日ソ対抗種目別選手権大会(兵庫県)  
【種目別】鉄棒3位
- 昭和46年12月 社会人選手権大会(神奈川県)  
個人総合2位
- 昭和46年12月 日ソ対抗大会(神奈川県)  
個人総合3位
- 昭和47年 4月 リガ国際大会(ソビエト)  
個人総合3位  
【種目別】鉄棒2位
- 昭和47年 8月 第20回オリンピック競技大会(ミュンヘン)  
団体総合1位  
【種目別】鉄棒1位、つり輪3位
- 昭和47年11月 第26回全日本体操競技選手権大会(米子)  
【種目別】鉄棒1位
- 昭和47年12月 国際選抜競技会(愛知県)  
個人総合3位



昭和40年8月、宮崎県で行われた「全国高校選手権大会」での、“ゆか”と“つり輪”の演技。インターハイでは2年、3年と連続で団体総合優勝、個人総合優勝を果たした。



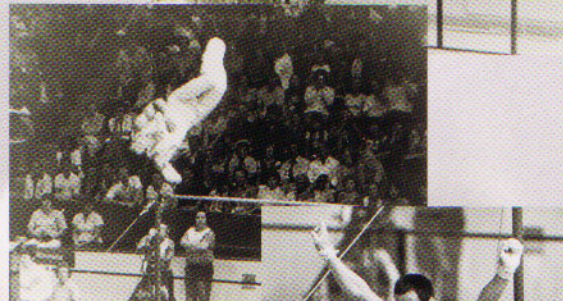
「第22回全日本学生体操競技選手権大会」(長崎県)での“平行棒”の演技。塚原氏大学3年の時。



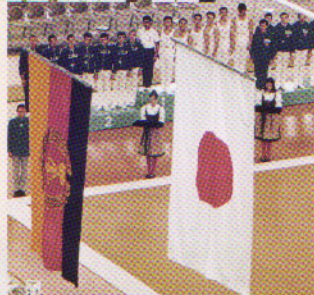
株式会社河合楽器製作所に所属していた頃の「全日本体操競技選手権大会」での演技。



# Moon Salto Mitsuo Mukahara



「第20回オリンピック競技大会」(ミュンヘン)で初めて「月面宙返り」(ムーンサルト)を披露し、金メダルを獲得した鉄棒の演技。団体総合でも金メダルを獲得した。



「第21回オリンピック競技大会」(モントリオール)で金メダルを獲得した「鉄棒」の演技と、「つり輪」の演技。



- 昭和47年 12月
- 昭和48年 3月
- 昭和48年 3月
- 昭和48年 6月
- 昭和48年 11月
- 昭和49年 7月
- 昭和49年 10月
- 昭和49年 11月
- 昭和50年 7月
- 昭和50年 7月
- 昭和50年 10月
- 昭和50年 10月
- 昭和50年 11月
- 昭和50年 11月
- 昭和51年 7月
- 昭和51年 10月
- 昭和51年 11月
- 昭和53年 10月
- 昭和53年 11月
- 昭和53年 12月
- 昭和54年 9月
- 昭和54年 10月

- 国際体操選手権大会(武道館)  
個人総合3位  
【種目別】ゆか3位、鉄棒3位、つり輪2位、跳馬3位
- 1974年モスクワ国際大会(モスクワ)  
個人総合3位  
【種目別】跳馬3位、平行棒2位、つり輪2位、鉄棒2位
- リガ国際大会(ソ連)  
個人総合2位  
【種目別】ゆか3位、あん馬3位、平行棒2位、跳馬3位、つり輪2位、鉄棒2位
- NHK杯選抜競技会(神奈川県)  
個人総合2位
- 第27回全日本体操競技選手権大会(真駒内)  
個人総合1位  
【種目別】つり輪1位、平行棒2位、鉄棒3位
- 日中友好大会(北九州大会)  
【種目別】つり輪1位、鉄棒1位
- 第18回世界体操競技選手権大会(バルナ)  
団体総合1位
- 第28回全日本体操競技選手権大会(岡山県)  
【種目別】平行棒3位、鉄棒3位
- NHK杯選抜競技会(八王子)  
個人総合2位
- モントリオール国際競技会(プレオリンピック)  
個人総合1位  
【種目別】つり輪1位、ゆか1位、あん馬3位、平行棒1位、鉄棒1位
- 第29回全日本体操競技選手権大会(長野県)  
個人総合1位  
【種目別】平行棒3位、つり輪2位、跳馬2位、鉄棒1位
- 第1回ワールドカップ(ロンドン)  
【種目別】つり輪1位、平行棒2位、鉄棒1位
- 国際大会種目別選手権(北九州市)  
【種目別】つり輪3位、跳馬2位、平行棒3位、鉄棒1位
- 日ソ対抗大会(山口県)  
個人総合1位
- 第21回オリンピック競技大会(モントリオール)  
団体総合1位、個人総合3位  
【種目別】鉄棒1位、跳馬2位、平行棒3位
- 第30回全日本体操競技選手権大会(水戸)  
団体総合1位、個人総合2位  
【種目別】鉄棒3位
- 国際選抜大会種目別選手権(東京)  
【種目別】つり輪1位、跳馬2位
- 第19回世界体操競技選手権大会(ストラスブール)  
団体総合1位
- 第32回全日本体操競技選手権大会(北九州市)  
【種目別】つり輪3位
- '78TOKYOカップ種目別選手権(東京)  
【種目別】鉄棒2位
- 第12回全日本社会人選手権(神奈川県)  
個人総合3位  
【種目別】つり輪3位、跳馬2位、鉄棒3位
- 第33回全日本体操競技選手権大会(八王子)  
個人総合3位  
【種目別】つり輪2位、跳馬2位、平行棒3位、鉄棒3位



オリンピックで金メダル5個を含む  
計9個のメダルを獲得。  
「月面宙返り」を生んだ、体操日本の象徴的存在。

つかはらみつお

## 塚原光男

1947年12月22日生まれ。東京都出身。メキシコ、ミュンヘン、モントリオールの3大会で、団体3個、個人2個の金メダルを獲得。72年のミュンヘン大会で金メダルを獲得した鉄棒では、「月面宙返り(ムーンサルト)」を発表し世界を驚かせた。引退後はコーチとして後進の指導にあたり、男子団体に金メダルを獲得したアテネオリンピックでは総監督を務めた。アテネオリンピックの金メダルメンバー塚原直也選手は長男である。

### 学 歴

昭和38年4月1日 國學院大学附属國學院高等学校入学  
昭和41年3月1日 國學院大学附属國學院高等学校卒業  
昭和41年4月1日 日本体育大学体育学部体育学科入学  
昭和45年3月1日 日本体育大学体育学部体育学科卒業

### 職 歴

昭和45年4月1日 株式会社河合楽器製作所人事部  
昭和54年4月1日 朝日生命厚生事業団体操教室校長  
平成14年3月1日 有限会社塚原体操センター代表取締役  
(現在に至る)

### 賞 罰

昭和43年11月 スポーツ功労賞(文部省)  
昭和43年12月 内閣総理大臣杯(総理府)  
昭和43年11月 財団法人日本体操協会栄光賞  
昭和43年12月 朝日スポーツ賞(朝日新聞社)  
昭和45年12月 日本スポーツ賞グランプリ(読売新聞社)  
昭和45年12月 朝日スポーツ賞(朝日新聞社)  
昭和47年 9月 スポーツ功労賞(文部省)  
昭和47年12月 日本スポーツ賞グランプリ(読売新聞社)  
昭和47年12月 朝日スポーツ賞(朝日新聞社)  
昭和47年12月 内閣総理大臣杯(総理府)  
昭和49年12月 朝日スポーツ賞(朝日新聞社)  
昭和51年 8月 スポーツ功労賞(文部省)  
昭和51年12月 日本スポーツ賞オリンピック特別賞(読売新聞社)  
昭和51年12月 内閣総理大臣杯(総理府)  
昭和51年12月 朝日スポーツ賞(朝日新聞社)  
昭和53年12月 朝日スポーツ賞(朝日新聞社)  
平成11年 3月 ミズノスポーツメントール賞(財団法人ミズノスポーツ振興会)  
平成21年11月 紫綬褒章 受章

### スポーツ団体歴

昭和58年4月1日 財団法人日本体操協会 女子競技本部ナショナル強化部長(昭和60年3月31日まで)  
昭和58年4月1日 全日本ジュニア体操クラブ協議会 理事(平成5年3月31日まで)  
昭和60年4月1日 財団法人日本体操協会 女子体操競技委員会ナショナル強化部長(平成元年3月31日まで)  
昭和60年4月1日 財団法人日本体操協会 器械器具検定委員会・体操服装類認定委員会委員(昭和62年3月31日まで)  
平成 元年4月1日 財団法人日本体操協会 女子体操競技委員会 副委員長(平成3年3月31日まで)  
平成 3年4月1日 財団法人日本体操協会 常務理事(平成5年3月31日まで)  
平成 3年4月1日 財団法人日本体操協会 女子体操競技委員会委員長(平成5年3月31日まで)  
平成 3年4月1日 財団法人日本体操協会 競技者委員会委員(平成5年3月31日まで)  
平成 3年4月1日 財団法人日本体操協会 事業委員会委員(平成5年3月31日まで)  
平成 3年4月1日 財団法人日本体操協会 機関紙委員会委員(平成5年3月31日まで)  
平成 3年4月1日 全日本社会人体操競技連盟 常務理事(平成5年3月31日まで)  
平成 5年4月1日 全日本社会人体操競技連盟 理事(平成11年3月31日まで)  
平成11年4月1日 全日本社会人体操競技連盟 副理事長(平成13年3月31日まで)  
平成11年4月1日 財団法人日本オリンピック委員会 アスリート委員(平成15年3月31日まで)  
平成13年4月1日 全日本社会人体操競技連盟 理事長(現在に至る)  
平成13年4月1日 財団法人日本体操協会 常務理事(平成17年3月31日まで)  
平成13年4月1日 財団法人日本体操協会 財務委員会委員(平成15年3月31日まで)  
平成13年4月1日 財団法人日本体操協会 広報委員会委員長(平成15年3月31日まで)  
平成15年4月1日 財団法人日本オリンピック委員会 選手強化本部員(現在に至る)  
平成15年4月1日 財団法人日本体操協会 アテネオリンピック強化委員会副委員長(平成17年3月31日まで)  
平成15年4月1日 財団法人日本体操協会 環境委員会委員(平成17年3月31日まで)  
平成17年4月1日 財団法人日本体操協会 北京オリンピック強化委員会 委員長(平成21年3月31日まで)  
平成17年4月1日 財団法人日本体操協会 副会長(現在に至る)  
平成20年4月1日 財団法人日本オリンピック委員会 理事(現在に至る)

Moon  
Salto  
Mitsuo  
Tsukahara